2022年度　日本工学院専門学校

音響芸術科

ボランティア１

対象	１年次	開講期	前・後期	区分	選択	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	蓑輪　直子・梶原　更宮			実務経験	有	職種	エンジニア				

担当教員紹介

放送業界におけるポストプロダクションスタジオにてＭＡエンジニアとして従事。撮影の音声から効果音・選曲、仕上げのＭｉｘまで幅広い業務経験を有している。

授業概要

地域連携と地域貢献が目的である。自身の生活する地域社会において起こる社会問題や課題の解決に対して、単に行政や他者に求めるだけではなく、自分自身が自発的・主体的に関わる事で深い理解を示す。また参加する事で従来にない新たな活動を展開する“先駆性”を生み出し、“受ける側”の個々のニーズに対応できる“個別性”を実現する。

到達目標

単純に参加するだけでは無く、地域の特性、その参加者の年齢層や男女比など総合的に理解したうえで地元住民との話し合いを経て最高のパフォーマンスが発揮できる状況を作り出す。地域の参加者にとっては新たな刺激を受け、参加する学生達は感謝される喜びや奉仕の精神について学び人と人との結びを学ぶ。

授業方法

大田区からの依頼を中心に展開して行く。引率教員を中心にチームを組み、より深く地域社会との繋がりを持つことが目的なので催事、イベントへの参加者の意図を組みながら学生の持つスキルの向上にも努め、双方の向上に繋げる。

成績評価方法

レポート　　40%　授業内容の理解度を確認するために実施する
平常点　　60%　積極的な授業参加度、授業態度によって評価する

履修上の注意

地域、学生どちらか一方の主張が強くならない様に話し合いの機会を設けて双方の理解を深めてのぞませる事。小さな子供からお年寄りまで幅広い年齢に対応するため言葉使いや接する態度などを事前に認識してのぞむ事。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

教科書教材

必要に応じて適宜資料を配布します。

回数	授業計画
第1回	事前打合せ：催事のテーマにそった事前知識を調査し、情報を整理することができる
第2回	事前準備：事前調査によって整理した情報を他者と共有する
第3回	催事への参加：知的好奇心をもってのぞみ、見識を深め、催事テーマについて深層まで探究することができる
第4回	参加状況のまとめ：催事内容を振り返り、新たな発見や自信のスキルを認識することができる
第5回	結果報告・レポート作成：結果報告、自ら調査した事柄を他者と共有するために、情報を整理して説明することができる